

人間ドック・健康診断を受診された皆さまへ

アレルギー検査結果について

監修：東京大学 名誉教授 宮本 昭正先生

検査結果の見方

アレルギー検査報告書

カルテNo. 1234567 ●●タロウ 殿 ●●病院 殿

材 料 血清 採取日 年 ●●月 ●●日 提出医 ●● 先生

受付No. 000001 受付日 ●●年 ●●月 ●●日 科 名

報告日 ●●年 ●●月 ●●日 病 棟

その他No.

検査項目	クラス	測定値	コメント	単位	基準値	陰 性	疑陽性	陽 性
特異的 IgE				LC	クラス0			
トマト	5	140						*
モモ	5	121						*
キウイ	4	65.8						*
バナナ	4	94.6						*
スギ	3	49.0						*
ヒノキ	4	75.5						*
ハンノキ	0	1.29				-*		
シラカンバ	2	4.81					*	
ヨモギ	6	200						*
アスベルギルス	3	32.8						*
カンジダ	2	4.57						*
ラテックス	6	194						*
ダイズ	2	12.3						*

今回調べたアレルギーの原因物質の名称です

測定値をもとに、7段階にクラスを分けています

この検査報告書は一例です。

検査結果とアレルギー症状との関係

■ 測定クラスの解釈方法

この検査は、「特異的 IgE 抗体」という血液中のアレルギーに関与する物質を測定しています。
アレルギーは、免疫反応の 1 つで、この特異的 IgE 抗体が強く関与しています。
下表は、クラスの解釈方法です。

判 定	クラス	測定値 (ルミカウント)	解 釈
陰 性	0	0~1.39	血液中に特異的IgE抗体が存在していない、または検出限界以下の微量の抗体が存在している可能性があります。
疑陽性	1	1.40~2.77	微量ながら、特異的IgE抗体が存在している可能性があります。
陽 性	2	2.78~13.4	血液中に特異的IgE抗体が存在しています。 クラスが上がるにつれて、アレルギーを発症する可能性が高くなったり、症状が重くなったりする場合があります。
	3	13.5~58.0	
	4	58.1~119	
	5	120~159	
	6	160~	

■ 判定と症状の不一致理由

判定結果が陽性であれば、その項目に対する特異的 IgE 抗体は存在します。
しかし、アレルギー症状には個人差があるため、判定結果とアレルギー症状が一致しないことがあります。
下表は、判定と症状が一致しない場合に参照ください。

判 定	症 状	説 明
陰 性	有	今回の検査では検出できなかった微量の特異的IgE抗体が存在している可能性があり、判定が陰性でも症状を示すことがあります。 また、今回の測定項目以外の特異的IgE抗体が存在している可能性や特異的IgE抗体以外の物質がアレルギーの原因になっている可能性が考えられます。
陽 性	無	アレルギーは身体の中で特異的IgE抗体と肥満細胞 ^{*1} が結合した場合に発症しますので、特異的IgE抗体が血液中に存在していても、人によってはアレルギーを発症しないことがあります。

※1 アレルギーに関与する白血球の1種です。アレルギーには体内の多くの物質が複雑に関与していますが、肥満細胞と特異的IgE抗体の結合が一連のアレルギー反応のスタートとなります。

アレルギーは、医師が症状等に基づき総合的に判断します。

検査結果が陽性の場合

現在通院されている医療機関や、通院に便利な地域の医療機関でも治療することができます。
また医療機関によってはアレルギー学会指導医・認定医の医師が診療を行っています。
必要に応じて医療機関にお問合せください。

検査結果が陰性の場合

今後、アレルギーの原因となる物質との接触、摂取などにより、血液中の特異的 IgE 抗体の濃度が変わってくることもあります。
検査結果が陰性でも、症状があるなどの場合は必要に応じて医療機関にご相談ください。

アレルギー対策の例

アレルギーへの対策は、アレルギーの原因となるものを避けることから始まります。

花粉



花粉が飛散する時期は外出を控えたり、マスクを着用したりするなど、対策をしましょう。
外出中、花粉が衣服に付くことがありますので、室内に入る前にしっかりと払い落としましょう。

ハウスダスト、ダニ、カビ等



家の中の掃除と換気をこまめに行いましょう。
ダニは高温・多湿を好み、こぼれた食べ物やフケなどを餌にしてベッドやソファ、カーペット、畳などを棲み処にしています。
カビは浴室などの水周りや、下駄箱など湿気の多い所に発生しやすいので換気をこまめに行いましょう。
また室内の観葉植物にも注意が必要です。

食物アレルギー



検査結果が陽性となったとしても、必ずしも原因となる食物を避ける必要はありません。
場合によっては、摂取を控えることになりますので、医療機関にご相談ください。

詳しくは  アレルギーを正しく知ろう 30 で検索！

製造販売元

 日立化成ダイアグノスティックス・システムズ株式会社

〒104-6004 東京都中央区晴海1-8-10
TEL: 03-6219-7608